

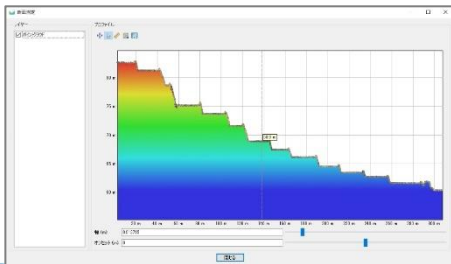
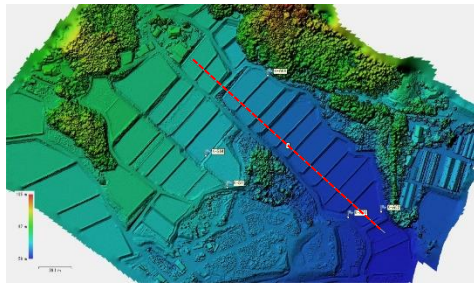
### ① レーザースキャンの位置合わせ機能

Ver2.1では、複数地点で取得された地上LiDARデータの位置合わせの処理が追加されました。撮影画像がなくともLiDARデータのみで処理が可能になりました。



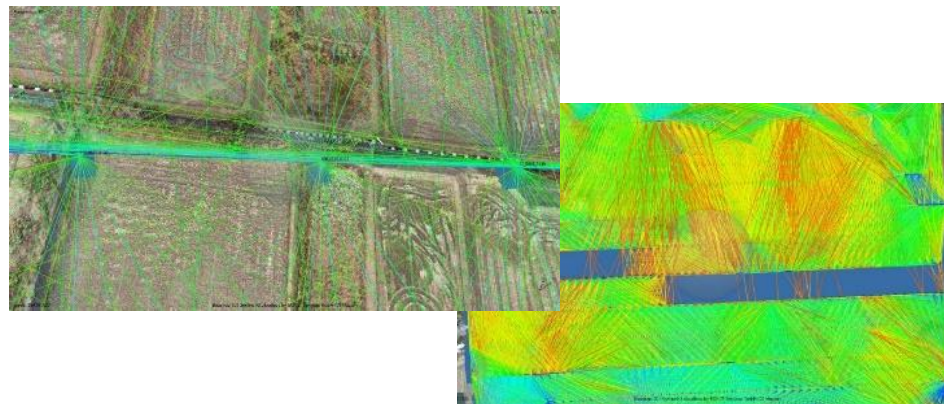
### ② プロファイル（断面図）測定機能の強化

Ver2.1では、今までの3D点群(ポイントクラウド)のプロファイル測定機能は表示だけでしたが、計測機能や表切り替えなど複数の機能が追加されました。点群間の長さの計測やDEMとの比較などが容易に行えます。



### ③ マッチンググラフ表示機能

マッチンググラフツールを使用すると、撮影位置の中心間に線を表示され、線の色は画像間の有効なタイポインツの数を示します。これにより、撮影画像の中で繋がりの薄い画像を可視化することができます。



### ④ 3Dモデル構築でブロックモデルを作成

Ver2.1では、大規模なプロジェクトファイル进行处理することに適した、3Dモデルをブロックに分けて作成する機能が追加されました。ブロックごとの編集やテクスチャの構築が可能で、より詳細な3Dモデルを作成することが可能になりました。



## スタンダード版プロフェッショナル版共通の追加機能

- データのアップロードコマンドにNiraサービスを追加
- モデルビューで[Alt + マウススクロール]を使用したポイントスケーリングを追加
- カメラのインポート/エクスポートに"BlocksExchange"フォーマットの魚眼キャリブレーションを追加
- モデルメニューに[マッチンググラフ]コマンドを追加
- [モデルのインポート]に"バイナリ GLTF"フォーマットを追加
- [モデル構築]、[ポイントクラウド構築]、[モデルのインポート]ダイアログに"既定のアセットを置き換える"オプションを追加
- [ポリゴン数削減]ダイアログに"ソースモデルを置き換える"オプションを追加
- [ワークスペース]ペインの"モデル"コンテキストメニューに[プロセス]サブメニューを追加
- [ワークスペース]ペインの[エクスポート]コマンドに複数選択をサポート
- カメラトラックのキーフレーム位置を保持するためにスムージングアルゴリズムを更新

## プロフェッショナル版の追加機能

- モデルビューにタイポイント、モデル、タイルモデル用の立面図ビューモードを追加
- [断面 (プロファイル) 測定]ツールにタイポイントとモデルを追加
- [断面 (プロファイル) 測定]ダイアログに"点群レイヤーのリスト"と"オフセット"オプションを追加
- [断面 (プロファイル) 測定]ダイアログに"定規ツール"、"ビューモード選択"、"ビューのリセット"ボタンを追加
- [頂点を着色]コマンドのソースデータに"レーザースキャン"を追加
- [スムースポイントクラウド]ダイアログに"ポイントクラス"と"選択に適用する"オプションを追加
- 衛星画像処理に"SPOT 5 DIMAP"フォーマットを追加
- ゼロ交差歪を持つRPC係数の正規化を追加
- [バッチ処理]ダイアログに[電線の検出]コマンドを追加
- 軌跡のインポートコマンドに回転角度を追加
- Cesium 3D TilesエクスポートにHTMLベースビューアアプリケーションを追加
- [ワークフロー]メニューにレーザースキャンのジオメトリマッチングが可能になるように[レーザースキャンをアラインメント]コマンドを追加
- [モデル構築]コマンドに"ブロックに分割"オプションを追加
- "Cesium 3D Tiles 1.1"フォーマットを追加
- "3Dタイルアーカイブ(3tz)"フォーマットでファイルを作成するように、"Cesium 3D Tiles"エクスポートを更新
- ポイントクラウドエクスポートに"Cloud Optimized Point Cloud (COPC)"フォーマットを追加
- [地上ポイントの分類]コマンドに"最大地形傾斜角"パラメータを追加
- [モデル構築]と[タイルモデル構築]コマンドに"レーザースキャン"と"深度マップ+レーザースキャン"のオプションを追加
- [DEM構築]コマンドにレーザースキャンのオプションを追加
- [座標データ]ペインの画像コンテキストメニューに[キャプチャ距離を設定]コマンドを追加
- [DEM構築]、[オルソモザイク構築]、[タイルモデル構築]、[ポイントクラウドフィルタリング]、[ラスターのインポート]、[ラスターの変換]コマンドに"既定のアセットを置き換える"オプションを追加
- [ワークスペース]ペインの"モデル"コンテキストメニューに[変換を固定]コマンドを追加
- モデルビューの"シェイプ"コンテキストメニューに[断面測定]コマンドを追加
- コマンドラインからAgisoft Viewerでデータセットを開く機能を追加
- EPSGをバージョン10.098に更新
- ネットワーク処理サーバー
  - 最小限の依存関係を持つスタンドアロンのネットワーク処理サーババイナリプログラムを追加
  - 異なるMetashapeのバージョン (例: Ver2.0とVer2.1) の混合に対応
  - ノード毎にワーカの上限を指定可能なコマンドラインオプション"--worker-limit-per-node"を追加
  - デフォルトですべてのネットワークインターフェイスで待ち受けするように、ネットワークサーバーを更新